

センターだより 2 月号

今年度も残り少なくなってきました。4 月当初は個々の遊びが中心であった子ども達も、各グループで大縄跳びやカルタ遊び等、友達同士で遊べる事が多くなって来ました。

友達同士での遊びが、これまで以上に楽しめるように 2 月と 3 月は、電車やクッキング等のグループ活動の計画も立てています。

インフルエンザや胃腸風邪が流行している時期ですが、生活の流れや睡眠リズムを整えながら、元気に友達と一緒にグループ活動が楽しめるようにしましょう。

*生活リズムを整える事=正しい睡眠をとる事と言われています。熟睡できない、夜遅くまで起きている、なかなか寝ないといった悩みを多く聞きます。次のような事を試してみてください。

- ・朝の起床時間を、ある程度一定にしていくと、夜眠る時間も安定してきます。
- ・「夜、寝るのが遅かったから、朝はゆっくりと寝かせておきたい」とは思いますが、なるべく早い時間に起こすようにしましょう。
- ・起こしたい時間に合わせて、音楽を掛ける、声掛けをする等、目覚めやすいようにしましょう。
- ・昼寝も、一定のところで起こすようにして、眠り過ぎないように気をつけましょう。
- ・「眠らないなら・・・」といつまでも遊ばせておくのではなく、部屋を暗くして静かに過ごす等、気持ちや神経が落ち着くようにしていきましょう。



～ 2 月の主な行事 ～

4 日 (水)	親子遊び・歯科検診 (未満児グループ) 放課後等デイサービス
18 日 (水)	運営委員会 14 時～ 放課後等デイサービス
25 日 (水)	親子遊び・健康診断 (未満児グループ)

☆☆修了式のお知らせ☆☆

3月27日 (金) 10 時～11 時

14 人の年長さんが、修了します。

※ 1 年の締めくくりの日です。在籍児も参加してください。



～ 1 月のセンター情報 ～

☆☆☆ 匍匐 (ほふく) 前進 ♪♪♪

未満児グループでは、親子体操後はトイレタイム。「トイレに行きたくないな」といった素振りの子どもも、「友だちと一緒に」という事で、みんなでトイレに向かいます。そんな中、はるくんはお気に入りの鍵を持ちながら、腹ばいになり、腕の力だけでの匍匐 (ほふく) 前進で、トイレに行きます。なかなか体力のいる移動の仕方ですが、根気にトイレに向かっていきます。

しかしこの移動を繰り返す中で、体力も尽きたのか、自分で歩いて移動するようになりました。

「〇〇してはダメ・・・」ではなく、自分で判断して行動する事を身につけたのははるくんでした。すごい・・・、(^o^)

☆☆☆ 大成功・・・♪♪♪

そんなトイレタイムで、大きな拍手と歓声が巻き起こりました。

しんちゃんを取り囲むようにして、お母さん達も職員も、全員が拍手。「すごいね」「頑張ったね。」「上手にできたね」等の賞賛の声。

大成功した当事者のしんちゃんは、みんなの勢いに圧倒されたかのように、キョトンとした表情。

でもすぐに「ちゃんとトイレでできた・・・」という実感がわいたようで、得意顔に・・・

そしてやや照れながら、頭をチョココンと下げている。それを見て、涙目になった人もいたかな・・・?

☆☆☆ 百人一首♪♪♪

1月の放課後等デイサービスは、お正月らしく百人一首で、指導始めとなりました。

「あさぼらけ～」等、雅な上の句が読み上げられ、「センターも優雅になった・・・」と思った矢先、「バーン」と床に叩きつけるように、札を取る子、「とれな～い」と怒り出す子等、やはり賑やかな百人一首大会となりました。

それでも真剣に札を探し、最後まで集中する姿に、小学校での成長を実感しました。

☆☆☆ 大縄跳び♪♪♪

年長グループは、元気に大縄跳びに挑戦です。「できるかな～」と自信なさそうに話していたまさくん。跳び始めると「あー、これなら大丈夫」とニコニコ笑顔になり、快調に跳ぶ事が出来ました。

跳んでいる最中に、ズボンが下がり始め、「跳べない」と気が付いたらいくん。ズボンを上げ直しての再挑戦。「ズボンを上げると、良く跳べるよ」と自覚したらいくんは、友達にさっそくアドバイス。みんなも納得したようで、一斉にズボンをグイッと上げていました。



～ 学校・就園に向けて・・・



センターに来ている子ども達は、家庭生活や園の集団生活に、一生懸命に適応しようと頑張っています。今後も安心して生活する事ができるように①～⑤のような取り組みを、心掛けましょう。

(センターでも2月・3月はグループ遊びや体験学習をしていきます。)

① 自分でできる事を増やす、家のお手伝いをする。(センター：3月にはクッキング学習をします。)

子どもは、家族の中で「できた事」や「お手伝いした事」を認められ、褒められる事で自信をつけていきます。「ことばが遅いから」とか「〇〇できないから」と、ついつい大人が何でもやってあげている場合、子どもは家庭の中で「居場所がない・・・」というような感覚を持つ事もあるようです。

ゴミを捨てる、少しでも片づけをするなど、どんな事でもいいです。お手伝いをしてもらい、たくさん褒めてあげてください。家族の中で認められて自信を持つ事が、これからの集団生活を送る上での精神的支えになります。

また服を着る事や食事など、一人でできる事を少しずつ増やして行きましょう。子どもへの手助けは、100%から徐々に0%（見守り）を目指しましょう。

② 友達との関わりを楽しむ、仲間と生活する決まりを覚える。(センター：グループ活動を行います。)

人の話を聴く事や人と一緒に行動する事が苦手、慣れていない子どもも多いです。家族や友達と一緒に遊ぶ事から、人に合わせる事やルールを守る事も覚えて行きましょう。

少し我慢をする事や、家族や友達にどのように話しかければいいかなど、具体的な場面で学習できるようにして行きましょう。また家族や友達と一緒に事がしたいという気持ちや、学習意欲を更に高めてくれると思います。

③ 社会資源に触れる。(センター：電車体験や買い物学習を行いません。)

公衆トイレやコンビニなど、子どもと町に出て、困った経験はありませんか？子どもは場所を選ばず、思いのままに行動したり、感情を表現する事があります。小さい頃から、公共の場面に少しずつ慣れ、「ここでは座っている」「静かにしてはいけない」といった経験が必要です。また「大好きなお父さん、お母さん、友達と一緒にだから、困らせないようにしよう」といった気持ちをもってもらえる事も大切です。(日頃から親子・友達同士のコミュニケーションが、十分にとれるようにしておきましょう。)

④ プレッシャーを掛けないようにする。

「もうすぐ学校だから・・・」「保育園に行くなら、〇〇ができないといけないよ」等のことば掛けを、しないように心掛けましょう。お父さんやお母さんの不安を、子どもは敏感に感じ取り、同じように不安な気持ちになります。いつもの生活ができるように、自然な態度で接していきましょう。

⑤ 子どもの成長過程を見守り、できた事を認める。

「先生の話をしっかり聞けるようになってほしい。」「落ち着いて勉強ができるように、集中力を付けてほしい」等、就園や就学に向けて、集中する力がつく事を期待する声が多く聞かれます。

「就学までに・・・」「園に入るまでに・・・」といった事は、大人の感覚です。「〇〇までに・・・」といった一定の時期を基準に、子どもの「できる、できない」を判断したり、焦らないようにしましょう。

「集中する事」「相手の話をしっかりと聞く事」等は、確かにとても大切な力です。子どもを励まし、認めていく過程を大切にしていける事で、こうした力は、確実に育っていきます。ゆったりと見守り、支援していきましょう。

* 来年度の親の会・役員選出 募集中・・・(´ー´)

保護者同士の交流会や勉強会、行事体験等を行う大切な親の会です。是非、ご協力をお願いします。

